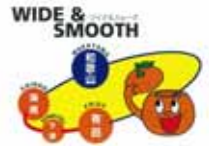




紀の国ハイウェイ



阪和道海南～有田間四車線化工事奮闘中！！

インターチェンジの四車化

この区間は当初にインターチェンジ拡幅を想定されていない道路(完成2車線)のため、インターチェンジの工事は、狭い作業スペースを利用しながら、供用中のランプを何度も切替えなければならない難工事です。そのため、お客様に影響のある工事は、毎年2回の夜間通行止め時に集中して実施しています。インターチェンジでのH20.6夜間工事の主な内容を紹介します。(下左写真は、完了時の新設線(下線)、ランプのイメージを示しております。)

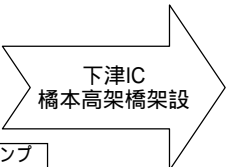
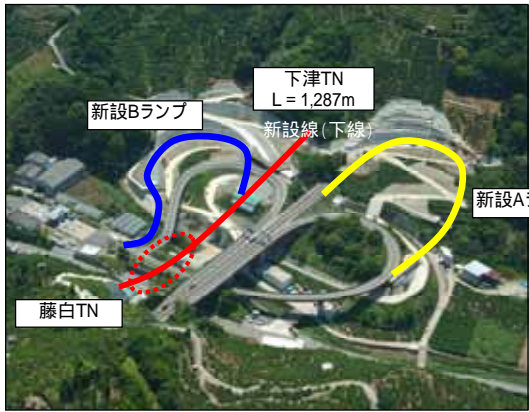
海南インターチェンジ



海南ICでは赤線のように本線が既設ランプ上に新設されるため新たなランプの工事中です。新設するランプと本線の交差するランプ橋を特殊台車で一括夜間架設しました。



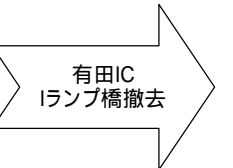
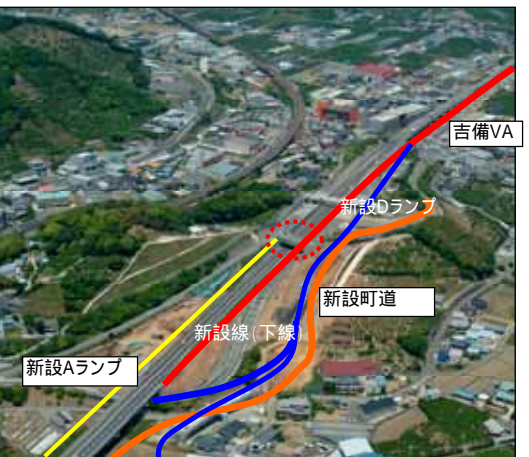
下津インターチェンジ



下津ICでは新設する下り本線と流出ランプの新設及び上りランプの改築工事中です。今回下り本線橋(橋本橋)を夜間架設しました。



有田インターチェンジ



有田ICの拡幅は本線上に跨った2橋を撤去し料金所を新設・撤去して実施するもので、今回はランプ橋を撤去しました。【1橋はH19.11夜間工事で撤去済】



航空写真：㈱大阪建設工業新聞社撮影

避難連絡坑の新設・既設拡幅・機能確保しながらのトンネル工事

この区間は約9.8KMの約8割が3本のトンネルとなっています。3本のトンネルとも避難連絡坑を新設もしくは拡幅し既設線に接続するとともに既設避難坑の機能も確保しつつトンネル掘削工事を実施中です。

避難坑:トンネル火災等緊急時に避難するためのトンネル
避難連絡坑:トンネル火災等緊急時に避難坑へと連絡するトンネル

本線部避難坑防護プロテクター



避難連絡坑拡幅状況

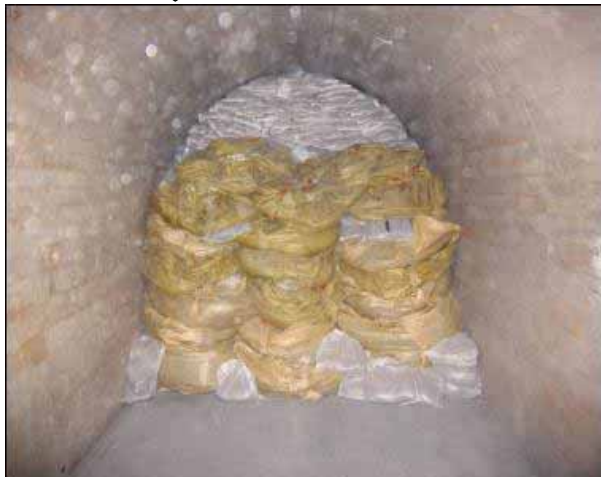


避難連絡坑防護扉(木製)



新設線(下線)のトンネル掘削で既設線連絡坑扉が爆破時の振動で壊れ既設線へ影響を与えないように避難連絡坑中間部に防護扉をセットしながら工事を行っています。また、既設線近接箇所では地山が硬質のため爆破できない範囲では削岩工法を採用しています。

切羽直近避難連絡坑防護扉(土嚢)



削岩工法による避難連絡坑新設工事

